

R-421 Subsidized Merchant

R-421 型政府指定商船

MEGA TRAVELLER

Science -Fiction Adventure
in the Far Future

CG softs: Shade8.5, Poser6J & Vue9



R-421 型政府指定商船

政府指定商船は、基本的には大規模な恒星間貿易会社や恒星間郵船会社により建造されることが多い。これらの会社は、莫大な船舶、倉庫、流通経路を有しており、商船の効率的な運用において最大限の利益を生み出すことができるからである。

これらのメガコーポレーションや準メガコーポレーションは、船を建造するための補助金を提供するように、星域や星系等の地方政府あるいは海軍に影響力を行行使うだけの政治力を有している。数十 MCr に達する補助金の獲得のために、メガコーポレーションや準メガコーポレーションは、表から裏まであらゆる手段を行行使って、恒星間貿易戦争を少しでも自社に有利に運ぼうと暗躍する。

メガコーポレーションや準メガコーポレーションは、時として船を建造するために共同企業体を作って補助金獲得に乗り出す。これらの企業が幹事会社となり、造船会社、保険会社、投資コンサルタント会社、地方の貿易会社等と連合して補助金獲得に乗り出すのである。

政府指定商船は、通常、新規に航路を開拓しようという場合に投入される。どの航路が帝国あるいは地方政府の発展に重要であるかが慎重に分析され、補助対象航路が決定されることとなる。補助対象航路の決定は、有識者からなる専門委員会が、アナリスト達の弾き出した複雑怪奇な収支予測に基づいて行うが、様々な利権に絡む働きかけがここでも行われる。



一方で、大規模な貿易会社には無視されるような星系の航路が、貿易の促進と発展のために補助対象航路に指定されることもある。Xポートルートやメインから外れた星系が恒星間貿易に依存して発展しようとする場合、こうした補助対象航路の開拓が必要不可欠となる。

単独で補助金を捻出できない零細地方政府は、より上位の政府から補助金の一部を肩代わりして貰えるように様々な働きかけを行うこととなる。

このような資金調達の後、船舶運用基金が設立される。船舶運用基金は、出資者により選出された評議委員により運用される。この評議委員達は、船の設計、乗員の選定、政府指定商船の経営に対して議決権を有することとなる。船が就役すると基金の実務上の執行は評議委員会が指名する船長に一任される。船長が評議委員の一人となる場合もある。

政府指定商船の収入及び支出は、船長が管理する船舶運用基金を通して行われる。乗員の給与、燃料、整備費等はこの基金から支出される。また収入は全てこの基金に組み入れられる。基金は、補助金の出資者への返済を他の全ての支出に優先する第1の責務としている。余剰金は年の終わりまで基金に蓄えられる。

定期整備費を支出した後、余剰金は基金の規程に基づき配分される。建造後数十年が経過すると、政府指定商船の修理や維持費は、開設した航路における運用利益を圧迫するようになる。このような場合、政府指定商船はスクラップにされるか、余剰船として売却される。政府指定商船が退役させられた場合、政府指定商船は自由貿易ベースの定期船に置き換えられる。同等の性能は有しているが恐らく機械的な信頼性は低下することになるであろう。



R-421 型政府指定客船は、様々な政府指定商船の中の最新タイプの一つである。MASA 社が建造する 400dt の汎用貨客船であり、近年、補助金獲得において提案されるパッケージプランの一つとして、グリッスン星域周辺の地方政府の公募で最も多用されているタイプである。

このクラスは、FTL ジャンプ 1~2 パーセクの様々な派生型を有している。MASA 社は、設計の基本段階においてこのクラスに十分な拡張性、改造容易性を盛り込んでおり、補助対象航路の状況に合わせて速やかに設計プランを最適化して提案することができる。

MASA 社の一連の政府指定商船シリーズは、頑強さと信頼性の高さが売りであり、R-421 型政府指定客船も例外ではない。近年、MASA 社の大型艦艇部門が良好な受注実績を挙げているが、その背景には、各種政府指定商船で培った MASA 社の高い信頼性が影響を及ぼしていることは間違いない。

R-421 型政府指定客船は、第5次辺境戦争後の民間船舶の被害を穴埋めするために、大量に建造されており、海軍の補助金による建造も進んでいる。海軍から補助金を受けたタイプは、有事における徴用を想定して幾つかの区画が海軍仕様で設計し直されている。



R-421 型政府指定客船のデッキプラン

R-421 型政府指定客船は、3層構造の複雑な構造であるため、船内を詳述する前に簡単にデッキプランを提示する。船は上部からA～Cデッキとなっている。

A-DECK

船橋：船の制御区画であり、船を制御する全ての機能が集約されている。

船長室：船橋直後に設けられている。

乗客用専用室：船首に2室、中央部に片舷に5室ずつ設けられている乗客用専用室で全部で13室ある。壁面が傾斜している構造となっている。

乗客共用室：乗客用の共用室であり、Bデッキとの吹き抜け構造となっている。Aデッキ右舷側には右舷側にはロビーとフロントが設けられている。

船尾乗客共用室：乗客用の共用室であり、軽食やレクリエーション等にも用いられる。

格納庫：20t ランチの格納庫で、ここから乗船する場合、船尾乗客共用室に乗り込むことができる。

B-DECK

制御区間：センサー、環境制御装置、コンピューターなどが設置されている。

乗員用専用室：Bデッキの片舷に3室ずつ設けられている乗員用の専用室である。天井が傾斜している狭小区画となっている。

乗員用共用室：乗員用の共用室であり、前方にリクライニングスペース、後方にダイニング、右舷後方にギャラリーが設けられている。床下と壁面下部に自動食料倉庫が設置されている。乗員用の食料はここに全て納められる。自動調理された食料がスチュワードロボットにより給仕され提供される。

乗客共用室：乗客用の共用室であり、Aデッキとの吹き抜け構造となっている。左舷側にはギャラリー、リクライニングスペース、右舷側がダイニングとなっている。床下と壁面下部に自動食料倉庫が設置されている。乗客の食料はここに全て納められる。自動調理された食料がスチュワードロボットにより給仕され提供される。

エアロック：港にドッキングしているときは左舷エアロックがメインゲートになる。ここには宇宙服や船外作業装備も収容されている。右舷側エアロックは通常は使用されない。緊急用のエアロックで機能は左舷側と同じである。

乗客用専用室：片舷に2室ずつ設けられている乗客用専用室で4室ある。左舷側の2室は広く、社会身分度の高い船客に優先して提供される。

二等寝台：二等寝台8基、緊急用二等寝台 2 基が備え付けられている。

特殊貨物倉庫：ばらづみ貨物、特殊貨物、危険貨物、環境に制約される貨物等を収納するための倉庫である。

第1貨物船倉：上部貨物船倉で、下部と吹き抜け構造となっており約40dtの貨物を積載できる。左舷側には**貨物船倉管理室**が設けられている。両舷に大型ハッチが設けられており、コンテナ移動の便宜を図るため右舷の通路は伸縮式になっている。

C-DECK

燃料タンク: 船体各所に83tの燃料タンクが設けられている。

貨物用エアロック: 貨物を搬入するためのエアロック兼反重力シャフトである。ここから搬入されたコンテナが第1, 第2貨物船倉に振り分けられる。

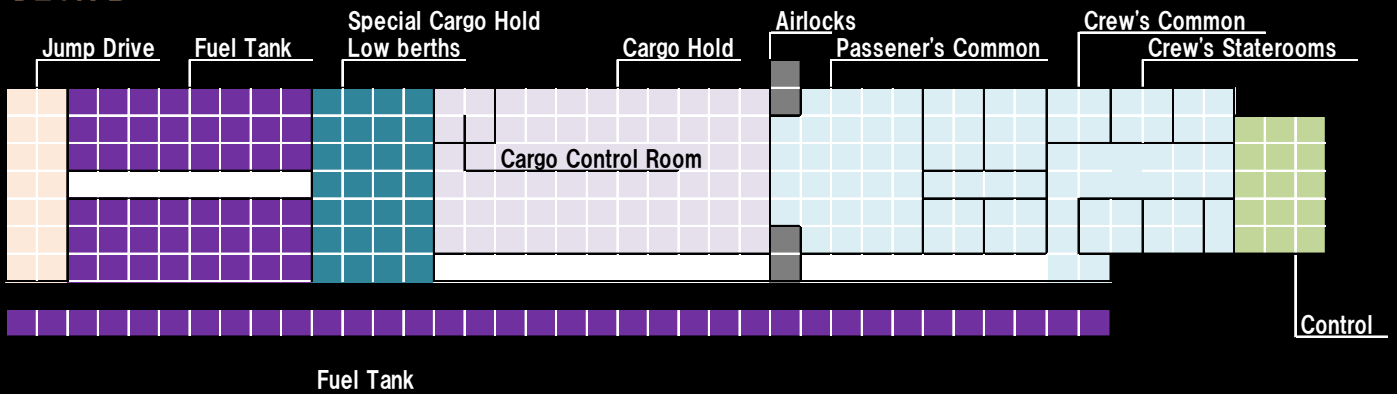
第2貨物船倉: 下部貨物船倉で, 120dt の貨物を積載することができる。

エンジニアリング区画: 2層吹き抜けの空間

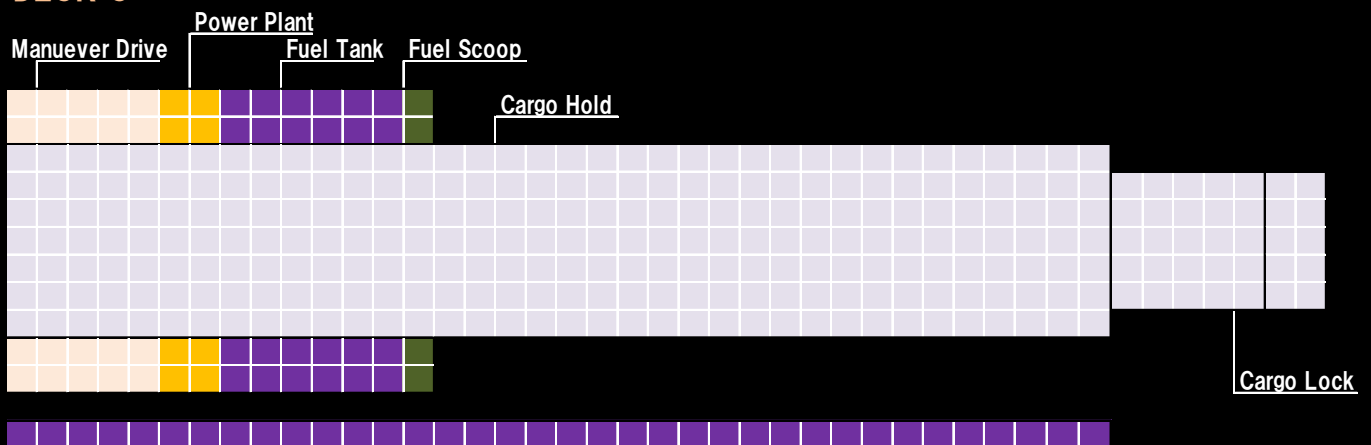
DECK A



DECK B



DECK C



A110 型自由貿易船の詳細

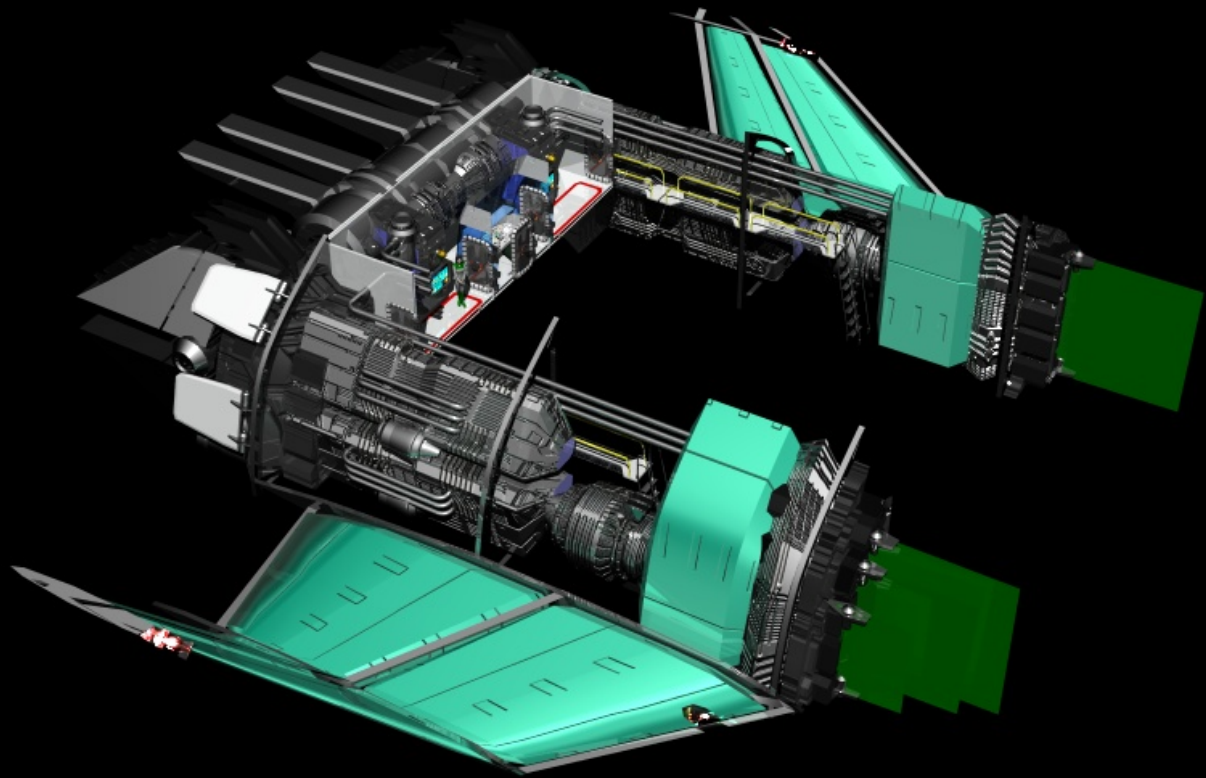
R-421 型政府指定商船の諸元

MASA/MASA04's R-421-class Subsidized Merchant from MASA.Ship's

CraftID: A-421, Type Merchant, TL 15, MCr 91
 Hull: 360/900, Disp= 400, Config= 4SL, Armor= 40G
 Unloaded= 1742 tons, Loaded= 3956 tons
 Power: 4/7, Fusion= 990 MW, Duration= 24/72
 Loco: 7/14, Maneuver= 1
 11/22, Jump= 2
 NOE= 190, Cruise= 750, Top= 1000, Vacuum= 1200
 Agility= 0
 Commo: Radio= System x1, Laser= System x1, Maser= System x1
 Sensors: PasEMS= Interstellar x1, ActEMS= Far Orbit x1
 Densitometer= LowPen/250m x1
 Neutrino= min 10kw x1
 ActObjScan= Rout, ActObjPin= Rout
 PasObjScan= Rout, PasObjPin= Rout
 PasEngScan= Simp, PasEngPin= Rout
 Off:
 Def: DefDM= +3
 ArmorDM= 0, SizeCd= 4
 Control: Computer= Model/2 x3, Panels= HoloLink x2
 Special: HUpHoloDisp x2
 BasEnv, Bas LS, Ext LS, Grav plates, Inertial comp
 Accom: Crew= 7 (1 x 7), Staterooms= 20
 Bridge= 2, Engrng= 2, Mtce= 0, Gunnery= 0, Flight= 0
 Troops= 0, Command= 0, Stewards= 2, Frozen= 0, Medical= 1
 HiPass= 16, MidPass= 0, LowPass= 8, LowBerth= 8, EmerLow= 2
 SubCraft: Launch x1
 Other: Fuel= 1095 kliters, Cargo= 2138 kliters
 Fuel scoops, PurificationPlant (48hours)
 ObjSize= Average, EMLLevel= Faint
 Design Notes MCr 73 in quantity

R-421 型政府指定商船の設計総括表

SUMMARY	Volume(dt)	Power(MW)	Volume(kl)	Weight(tons)	Price(MCr)	
Hull	-400		-5400.00	600.60	15.89	-400.00
Power	4	-990.00	55.00	110.00	11.00	4
Locomotion	20	560.00	270.00	604.00	41.60	20
Commo	0	0.13	0.13	0.07	0.58	0
Sensors	0	0.74	0.59	0.24	1.24	0
Weapons	4	4.00	54.00	0.00	0.00	4
Screens	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0
Environment	13	396.32	181.44	278.24	6.28	13
Bridge	0	0.05	12.56	3.74	5.90	1
Hangar	26		351.00		0.04	26
Accomodations	90	0.07	1215.00	90.00	8.40	90
Fuel	83	0.69	1122.40	54.80	0.43	83
Cargo	158		2137.87			158
Grand Totals		-28.00		1741.69	91.35	
			Loaded=	3,956.21		
			Agility=	0.087		



R-421 型政府指定商船は、方形流線形船体で、全長 72m、全幅 34m、全高 16m、総排水素 400dt、重量 1742t、満載重量 3956t である。船体は結合超密素材、通称 G 種別鋼を用いた 40 レベルの装甲板に覆われている。船体は、ガスジャイアントからの燃料補給を容易とするため、流線形化されている。

本級の主機は 495Mw の核融合炉 2 基で、200dt/1G 級のダブルインパルス型スラスト通常ドライブ 2 基とそれぞれ組み合わせられ、船尾両舷に配置されている。恒星間航行能力は 2 パーセクで 200Dt/1パーセク級の超光速ジャンプドライブユニット 4 基が船尾に配置されている。これらの機関ユニットは容易に取り外すことができ、整備性が高い。

これらの主機は、船尾両舷に設けられた B、C デッキ 2 層吹き抜けの通常ドライブスペースと、B デッキ船尾のジャンプドライブスペースに収められている。ドライブスペースへのアクセスは、貨物が満載されている場合には B デッキからのみ可能である。

B デッキのジャンプドライブ機器室に、機関制御室が設けられている。B デッキのジャンプドライブの下は、C デッキの貨物船倉となっており、船尾には貨物ハッチが設けられている。



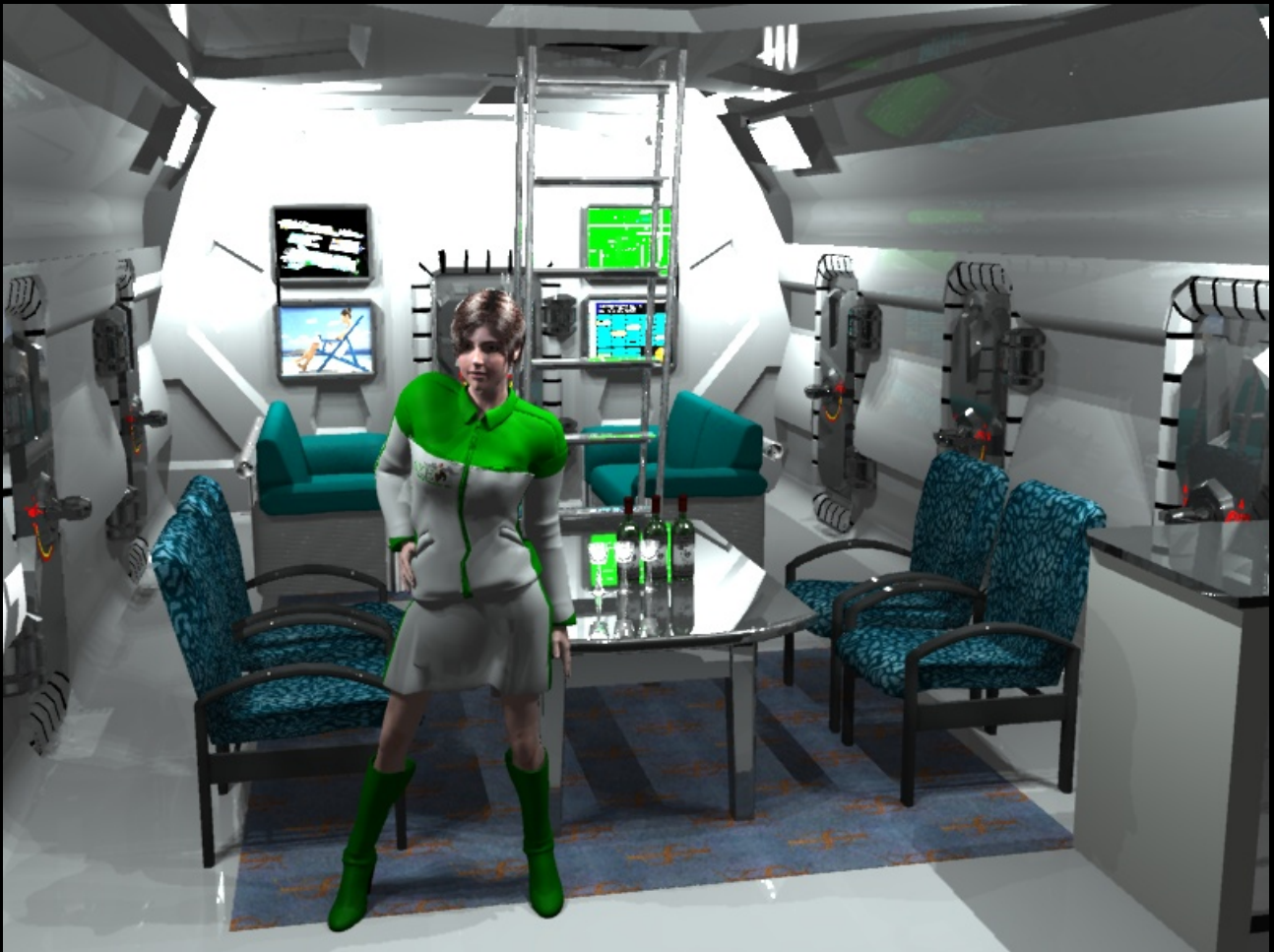
通信機器には、電波通信装置(SYSTEM)RS-15A, レーザー通信装置(SYSTEM)LS-15A, メーザー通信装置(SYSTEM)MRS-15A を1機ずつ装備している。

探知機には、受動EMS(Interstellar)PEMSF-IS/8, 能動EMS(Far Orbit)AEMSF-FO/7, 質量探知機低レベル(250 m)DSF-Lw25, 中間子探知機最小 10kw NSF-10 を1機ずつ装備している。

武器設置点は、4箇所設けられているが武装の程度は様々である。武器設置点は船体上部と下部にそれぞれ設けられている。

制御機器としては、モデル2型コンピューター3基が搭載されている。予備コンピューターは装備されていない。船の制御は全てBデッキの船橋で集中制御される。各所の砲塔も船橋からの遠隔操作となっている。

Aデッキの**船橋**には、操舵装置、航海計器など操船に必要な装置が集中している。また、機関、通信機器、探知機、兵器の遠隔操作端末もここに集中している。



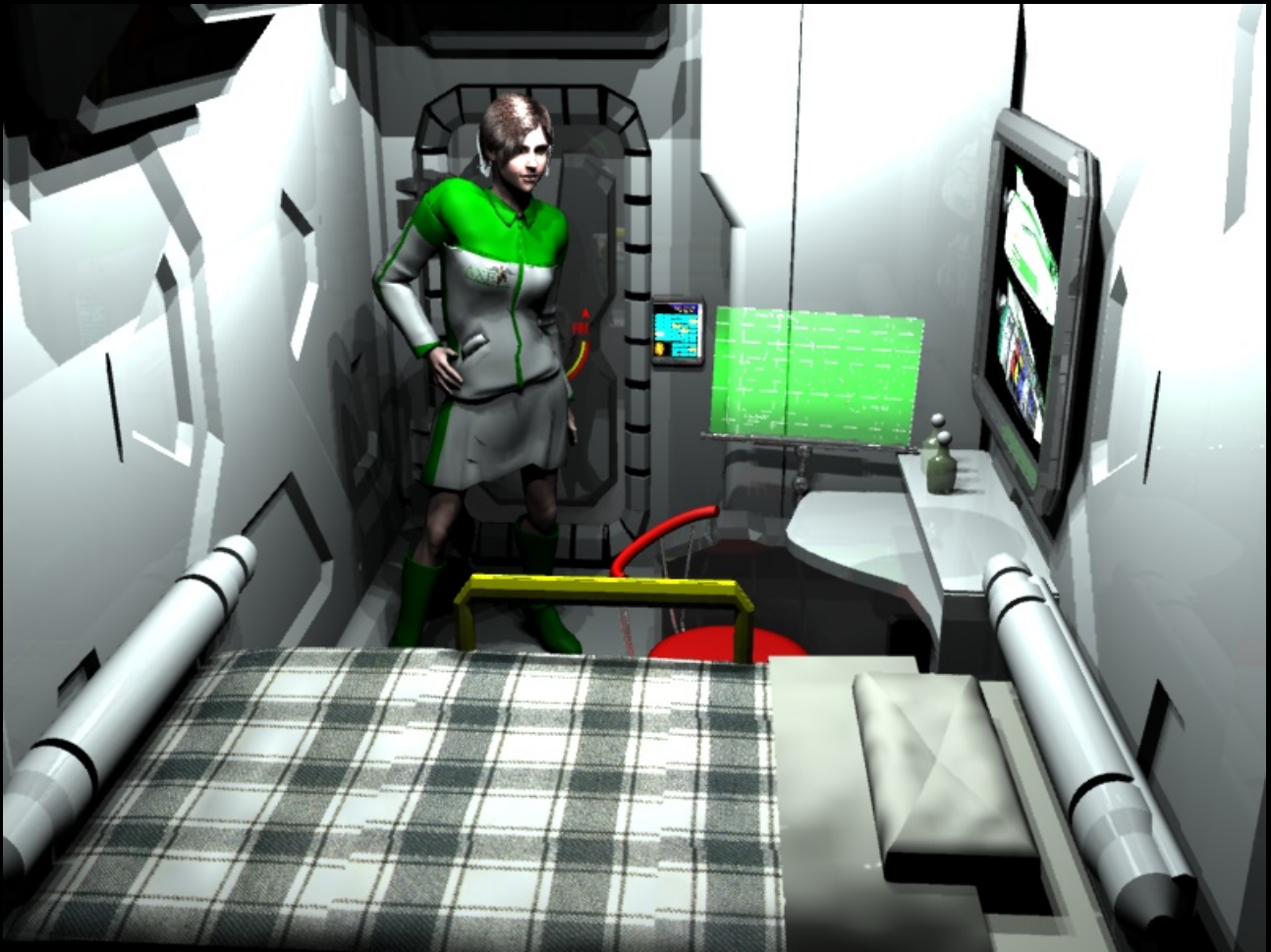
船内の環境は、基本環境システム、基本生命維持システム、上級生命維持システム、重力制御プレート、慣性中和装置などの各システムで保たれている。

乗組員は、航海2名、エンジニア2名、スチュワード2名、医療1名である。乗組員区画は、共用室と7つの専用室に仕切られている。船長室のみがAデッキに設けられている。この乗組員区画は、一般船客の立ち入りが禁止されている。ハイジャック防止プログラムが装備されており、船内はくまなくコンピューターにより監視されている。

乗組員用共用室はダイニングサロンとして利用される。簡単なキッチンとテーブル、ソファセットが置かれている。家具類は床下の個室に収納することができる。壁面には船外や望む風景を立体投影することができる。フィットネスなどの目的にも使用できる。

共用室の右舷後方がギャレーとなっている。基本的に料理は全自動なので、ここでは簡易な作業しか行われない。料理は、壁面下部の食糧庫から運びだされる。

共用室中央のラッタルはAデッキの船橋後方に接続されている。



R-421 型政府指定商船は、長期航海に備えて、狭いながらも全乗組員にプライバシーが確保される個室が用意されている。特に右舷側の3室の乗組員用専用室は 2m×2.5m の広さで通常よりもかなり狭い空間となっている。

専用室には、一般に 4 つの機能が求められるが、乗組員用の専用室には、それらの機能がコンパクトにまとめられている。4 つの機能とは、睡眠、食事、衛生、娯楽である。具体的な機能については、後述する乗客用専用室を参照のこと。

乗組員用専用室の内装は簡素である。自由貿易船の乗組員用個室は同時に家でもあり、様々な個人所有品に溢れている。軍艦と異なり船室に関しては規律は緩い。違法行為でない限り船長は乗組員の個室に関しては干渉しないのが不文律となっている。



R-421 型政府指定商船は、中央部にAデッキ、Bデッキ吹き抜けの乗客用共用室を有しており、その前後が客室となっている。またAデッキ最後部にも、20dt ランチ格納庫の隣接した後部乗客用共用室が配置されている。乗客は16名の特等又は一等船客、8名の2等船客である。

共用室はダイニングサロン、ダンスフロアー、エンターテイメントエリア等、様々な用途に合わせて切り替えて利用することができる。家具類は床下の個室に収納することができる。壁面には船外や望む風景を立体投影することができる。通常はラウンジとして使われているが、利用目的に応じて貸切とすることもできる。会議、商談、ゲーム、フィットネスなどの目的に応じて使い分けられる。

中央の乗客用共用室は左舷側がギャレーとなっている。基本的に料理は全自動なので、ここでは簡易な作業しか行われぬ。料理は、壁面下部の食糧庫から運びだされる。通常は、スチュワードロボットがここを仕切っている。

共用室では、食事ごとにメニューと内装が変更される。このため食事の度に、ドレスコードが使い分けられる。ドレスコードの設定は船ごとに異なるが、通常は以下の4区分である。

- ・フォーマル(男性はタキシード、女性はドレス)
- ・セミフォーマル(男性はスーツ、女性はワンピース)
- ・スマートカジュアル(ジャケット程度着用)
- ・カジュアル(襟付きシャツ着用)



メニューやドレスコードが気に入らない場合には、自身の専用室でルームサービスを利用することとなる。ダイニングテーブルは通常、右舷側に用意される。船長主催の正餐はコンピューターの定めた配席に基づき一斉に始められる。

船長主催の正餐は航海の最初の夜と、最後の夜に実施される。その他の食事の場合、乗客は食事の時間とメニューを船内コンピューターに予め予約することとなる。朝食はビュッフ形式が多い。

ラウンジの左舷側には、寛げるソファセットが置かれている。食後はこちらに移動してデザートや食後のワイン、喫茶を楽しむことができる。

客室の中央通路の両側には、寄港先の惑星にちなんだ様々な絵画や彫像が調度品として飾られている

乗客の乗降は通常、Bデッキの左舷のエアロックか、Aデッキ最後部の20dtランチ格納庫から行われる。Bデッキ左舷エアロックから乗船した場合、中央部の乗客用共用室に通される。20dtランチから乗船する場合は、Aデッキ後部乗客用共用室に通される。

チェックインは、それぞれの共用室でウェルカムドリンクが振舞われながらソファで行われる。ウェルカムドリンクを飲み終わるとそれぞれの客室に案内される。



乗客用専用室は、Aデッキ全部に2室、Aデッキ中央～後部に10室、Bデッキに4室が設けられている。専用室は3m×3mの広さである。専用室には、一般に4つの機能が求められるが、標準専用室には、それらの機能がコンパクトにまとめられている。4つの機能とは、**睡眠**、**食事**、**衛生**、**娯楽**である。この他、専用室には手荷物の収納スペースも求められる。



睡眠については、標準サイズのベッドが備えられている。コマンドにより壁に収納できる**折り畳み式**で、0-1.5Gの重力調整機能を有している。

食事については、折りたたみ式のテーブルと椅子で、4人が同時に食事できる。部屋で食事をする場合には、食事はラウンジから運ばれてくる。部屋には小型冷蔵庫が備えられており、急な要望に対してスナックと軽食が提供できるようになっている。

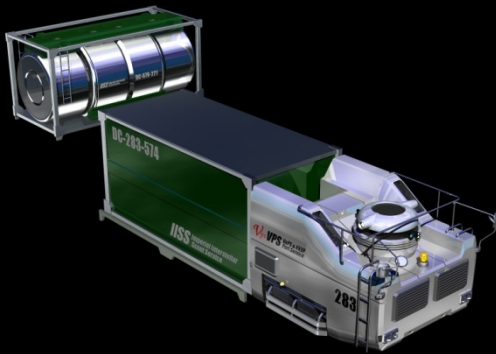
衛生については、**フレッシュ**が備えられている。フレッシュには、多機能シャワー、トイレ、洗面台、ドライヤーなどから構成されている。全ての装備は折り畳んで邪魔にならないように収納できる。

娯楽は、ジャンプ航海には欠かせない要素の一つである。娯楽の種類は、ホログラフ映像の他、船コンピューターや他の旅客とのゲーム対戦、船のコンピューターのライブラリーデータへのアクセスなどが可能である。

手荷物の収納は重量100kgまでを各専用室における。残り900kgは貨物室におかれる。乗員の立会いのもの貨物室から何時でも荷物を取り出せる。



B デッキ中央には、二等寝台8基、緊急用二等寝台2基が設置されている。この部屋は特殊貨物船倉としても利用可能で、ばらづみ貨物、特殊貨物、危険貨物、環境に制約される貨物等が収納される。この船倉は、気圧、気密、重力を自由に制御できるようになっており、様々な用途に使用される。



C デッキは、その大半が貨物船倉となっている。貨物船倉には約 40 個の 4dt 標準型コンテナを収納することができる。貨物デッキは 4dt コンテナを効率良く並べ拘束できるように作られている。貨物ハッチは、両舷及び前後に設けられており、反重リフターが直接船内までコンテナを運び込むことができる。通常この区画は空気を抜かれ真空とされる場合が多い。B デッキの貨物デッキには幅 75cm、高さ 2m のメンテナンス通路が設けられており、船尾まで通じている。この通路は、コンテナ移動の便宜を図るため中央部分が伸縮式になっている。

B デッキ左舷には貨物船倉管理室が設けられており、貨物デッキの気密、重力制御を行うことができる。また航海中は船の事務室としても活用される。この貨物管理室はラッタルでAデッキの後部共用室に通じている。



MASA/MASA04's LN_MK202-class LAUNCH from MASA.Ship's
 CraftID: LN_Mk204, Type LN_Mk202, TL 15, MCr 13
 Hull: 18/45, Disp= 20, Config= 4SL, Armor= 40G
 Unloaded= 172 tons, Loaded= 257 tons
 Power: 1/1, Fusion= 180 MW, Duration= 28/84
 Loco: 2/4, Maneuver= 4
 NOE= 190, Cruise= 750, Top= 1000, Vacuum= 3400
 Agility= 0
 Commo: Radio= System x1, Laser= System x1
 Sensors: PasEMS= Interstellar x1, ActEMS= FarOrbit x1
 Densitometer= LowPen/250m x1
 Neutrino= min 10kw x1
 ActObjScan= Rout, ActObjPin= Rout
 PasObjScan= Rout, PasObjPin= Rout
 PasEngScan= Simp, PasEngPin= Rout
 Off:
 Def: DefDM= +4
 ArmorDM= 0, SizeCd= 0
 Control: Computer= Model/2 x3, Panels= HoloLink x2
 Special: HeadsUpDisplay x2
 BasEnv, Bas LS, Ext LS, Grav plates, Inertial comp
 Accom: Crew= 1 (1 x 1), Seats=Roomy 13
 Other: Fuel= 60 kliters, Cargo= 80 kliters
 ObjSize= Average, EMLevel= Faint
 Design Notes MCr 10 in quantity

輸送機器として、20dtランチ1機を搭載している。ランチの格納庫はAデッキ後部に設けられている。20dtランチは船首に先端にエアロックと乗降ランプを有している。収益を上げるために20dtランチを搭載せずに、ここを客室、貨物室に作り変えている例も散見される。





Credits

Staff

Ship Design: MAG
CG Models: MAG
Web Master: 化夢宇留仁

Generators

Ship Design: Cray Bush's Worksheet for Lotus 123

3D Modeling

R-421 Models: Shade 8.5
Rendering: Shade 8.5, Vue5
